

放射性物質の調査について

東京電力は、環境省の震災がれき処理業務等の作業中に発見された物質について、同省の依頼を受け、放射性物質の調査を実施するため、当該物質を福島第一原子力発電所に持ち込み調査を開始いたします。

< 概要 >

- ・環境省が檜葉町(避難指示解除準備区域)で実施している震災がれき処理業務等の作業において、平成25年6月20日、高線量の放射能に汚染された物質が採取された。
- ・当該物質が福島第一原子力の事故に起因して発生した物質である可能性を踏まえ、当社は6月21日、環境省福島環境再生事務所より分析依頼を受けた。
- ・7月1日、当社は調査を開始するため、当該物質を福島第一原子力発電所に搬入した。

【採取された物質について(環境省からの情報)】

- 発掘場所： 福島県双葉郡檜葉町 井出川河口付近の河原
- 発掘経緯： 震災がれき処理作業等に伴う線量測定でホットスポット(高線量地点)を確認し、詳細に場所を同定した結果、当該物質を採取
- 測定濃度： 線量当量率

	表面	30cm
線	105 $\mu\text{Sv/h}$	23 $\mu\text{Sv/h}$
線	3400 $\mu\text{Sv/h}$	26 $\mu\text{Sv/h}$

表面汚染密度 10万cpm以上

- 大きさ : 長さ約3cm × 幅約1.5cm × 厚さ約0.5cmの破片状



当該物質



当該物質の保管容器
(福島第一原子力発電所)